

ふるさと
旬の味
二一七



コンブ粉末入り
きらずだんち

●材料（4個分）

- おから 300g
- 小麦粉 130g
- コンブの粉末 20g
- 黒ゴマ 大さじ1杯
- 刻みクルミ 大さじ1杯
- 砂糖 大さじ1杯
- 塩 小さじ1杯

●作り方

- ①上記の分量のおから、小麦粉、コンブの粉末、砂糖、塩をよく混ぜ合わせ、しっとりなじんだら半分にする。
- ②①の一方には刻みクルミを、もう一方には黒ゴマを入れて混ぜ、それぞれを4等分にして平らな丸形に形を整える。
- ③②を熱湯で十分ゆで、浮き上がったらざるにあげる。

●上方さんからひと言

「だんち」はおからの水分で小麦粉を湿らせるので、適当な硬さにするためにおからの水分の多少で小麦粉の分量を加減してください。砂糖みそを塗って焼いて食べてもおいしいですよ。



岩手県食の匠
上方 テイさん
(70歳・堀内)

「元気で稼ぎたいなんす」

松頭

愛さん (中央区・74歳)



出番おまかせでございませう

《285》

★…昭和55年の大冷害の年の冬から補助を受けてパイプハウス（簡易野菜栽培施設）で大根菜だの春菊を始めました。寒がったためムシ口をかげで、ろうそくでハウスを保温したったなんす。★…その後、当時の中村（直）知事さんが視察に来て「少しでもお金になるのだから頑張りなさい」と言われ、励みになったのを思い出します。★…こうしてハウスだの畑をやつてんのも、食べ物が無い時代に生きできて、物を大切にしたいと思うためなんだがなんす。最近はずが痛くて大変だが、何歳まででぎつか動けるうちはやりたいなんす。

文芸の世界

川柳愛好会
5月例会作品

かな文字にすればやさしく見えるかも
項垂れて無言の抗議鉢の花
それなりの別れ後味悪い日々
太長根英子

星降る夜空見上げれば亡母の顔
かな文字の魅力にいつかとりつかれ
七十路過ぎ友の訃報に項垂れる
嵯峨 待女

それなりの誇りを持って今日を生き
もの思い更けて仰げば星降る夜
かな文字の日記確かに私の字
三上 翠香

一坪の庭にそれなり花咲かす
今生にただ掌を合わす星降る夜
項垂れていっそ寂しい臍月
深渡 汀女

信用していいのかカタカナ保険
星降る夜明日のコンベに湧く斗志
項垂れたままのボクにも抱く火種
加差野静浪